

【参考】事前に電子申請で頂戴した御意見・御質問等

意見等	資料該当項目	担当課	回答
<p>全体的に内容を見た感想としては、広くそして多様な学びに対応する学校教育の在り方を示していただき感謝いたします。これから記載することは、資料を読みながら感じた個人の感想・意見でありますので、よろしくお願いたします。ページと内容、感想・意見等の順に記載します。なお、賛同する○、確認したい◇、修正や対策が必要ではないか■として記載します。</p> <p>P1 趣旨 ○ レジリエンス=がってしない子ども 非常に良いと思います 米沢では後世に引き継ぎたい精神です</p>	P1 計画策定の趣旨		
<p>P5 (6)共生社会の実現 ○ DEIの思想 市民憲章にも通じる考えだと感じます。 (8)気候変動と自然災害 ◇ 異常が日常となる恐れがある現状 夏の高温、冬の大雪への備えに加えて野生動物についてはどうでしょうか？ (9)こども基本法の施行 ◇ 学校現場における理解と対応促進のために為されている具体策はありますか</p>	P3～5 教育を取り巻く環境	学校教育課	◇P5（6）現状として記載していますので、「野生動物への対応」は課題に記載します。 ◇P5（9）具体的な理解促進の活動を行ったわけではありません。現在も行っているSSW派遣や心の悩み相談フォーム「ひとりじゃないよ」の運用はこども基本法の理解に通じるものがあると考えていますが、現行の取組がこども基本法のさらなる理解促進につながるように周知の方法を検討していきます。
<p>P6 施策1-1 教育の米沢品質 ■ 探求型学習の推進に係る具体的な根拠に乏しい 不登校 ■ 現施策では不登校の出現率は増加し続けています 抜本的な改革の必要性を感じます キャリア教育 ○ 中学校におけるYCWの成果は非常に大きいと感じています 継続したい P8 施策1-3 安全・安心マニュアルの見直しと整備 ■ 野生動物への対応も必要ではないか。 幼保小中連携 ◇ 「こ」（こども園）記載はなくともよいか。 P13 (2)全計画の振り返り ◇ 2段落1行目 探求型教育とあるが探求型「学習」では ■ 3行目 不登校対策に課題と明記 施策1-1との関連もあり抜本的な改革が必要だと感じる</p>	P6～13 前計画の主な取組状況と課題 ※現行の計画についての意見等	学校教育課	■P6 探求型学習の推進（具体的に）→各校では、課題発見と解決の見通しを重要視した授業展開が意識され、主体性が育つようにしています。また、授業の振り返りでは、学びを生活に広げる視点が意識されています。これらのことを取組状況として記載したところですが、 ■P6 不登校出現率の増加 →抜本的な改革の必要性は理解できる場所ですが、ここでは課題として、未然防止と学習機会の確保の観点から記載したのになります。 ■P8 安全・安心マニュアルの見直しと整備 →「気候変動の状況に応じた熱中症対策の見直しや野生動物への対応を検討していくことが課題です。」と修正します。 ◇P8 「こ」（こども園）記載はなくともよいか。→現行計画では、幼保小中連携としていたため、「こ」は記載しません。 ◇P13 2段落1行目「探求型教育」→「探求型学習」と訂正します。
<p>P6～ 「前計画の主な取組状況と課題について」 (1)施策ごとの主な取組状況と課題 (2)前計画の振り返り について、(1)と(2)の順番が逆でもよいのかなと感じました。議論の経過があつての配列としますので異議を唱えるものではありません。 また、(2)の振り返りの記載について、2段目の学校教育分野以降、「課題」「～する必要がある」の表現が多く、取組の内容や成果が遠慮がちで十分に伝えきれていないように感じます。</p>	P6～13 前計画の主な取組状況と課題	教育総務課	(1)と(2)の順番については、委員ご指摘のとおり逆でも成立するものと考えておりますが、(2)を後とし、課題を整理した上で第3章へつなぐため、このような流れとしたものです。
<p>「基本方針4 ふるさとを愛し、歴史と文化から未来を創る人づくり」では、歴史や伝統文化への誇りや継承に加え、「歴史や文化、豊かな自然を学ぶことを通してふるさとを愛する心を育む」こと、「新しい地域社会を創る人材」（修正前：「課題解決のために行動できる人材」）を育てると明記されたことに強い共感を覚えました。 歴史や文化は振り返るだけのものではなく、市民が、大人も子どもも、自らの足元を見つめることで米沢固有の歴史、文化、自然の特性に親しみ確かな愛着を実感でき、そのうえで、米沢らしさを生かした未来の地域づくりへの主体的な担い手としての意識が徐々にコミュニティ全体に醸成されていくことをめざす、との趣旨と拝見しました。</p>	P15 基本方針		
<p>各施策に対する成果指標について ・成果指標と活動指標（何をどれだけ実施したか）が混在しているように思います。目標の達成度をみるには統一したほうがよいのではないのでしょうか。 ・令和6年度より令和12年度の成果指標の数値を低く設定された項目があります。何故そのようにされたのでしょうか。</p>	P17～33 第4章 各施策の成果指標	教育総務課 学校教育課	成果指標については、上位計画であるまちづくり総合計画等との整合性を図った上で設定していることから、統一という点においては難しい面があることをご理解願います。 定期的なアンケート調査がないものは、活動実施を指標としたものがあります。成果指標が下がった項目は、令和6年までの成果が十分に高かった項目です。本計画では、必ず達成したい現実的な目標値を設定しております、一概に目標を下げて達成しやすいようにしたわけではありません。
<p>施策1-1 この項目だけに限らず、成果指標について、目標値が現状値を下回っているものが散見されます。現状を改善又はよりよくするための基本計画ではないかと思っておりますので、目標値が現状値を下回ることは適切ではないと考えます。 施策自体については時代の要請にマッチしているものと考えます。</p>	P17～33 第4章 各施策の成果指標	学校教育課	成果指標が下がった項目は、令和6年までの成果が十分に高かった項目です。改善が必要な項目だけでなく、本計画において重要と思われるものを成果指標の項目としました。そのため、必ず達成したい現実的な目標値を設定しております。
<p>全体的な取り組みについては素晴らしいものであると考えます。ですが、成果指標をしっかりと設定しなければ取り組みが適切になされているのか検証できないと考えます。</p>	P17～33 第4章 各施策の成果指標		
<p>「しあわせが循環する米沢」個人から地域や社会へ、歴史文化と共に時代を超えて未来へ、しあわせをキーワードに循環、是非、実現したい基本理念だと思っております。参酌されています第七次山形県教育振興計画については、ナナトークの開催等を通じて、広く県民の皆様に周知を行っていくことで、学校・家庭・地域への浸透を図っている様に感じています。計画を策定するのと同様に周知していくことは大切だと思っております。そこで、成果指標に周知に関しての数値も盛り込んでいかげでしょうか？「してるけどやらない」「しらないからやってない」を分別することができますので、第三次を検討する際に、大きな指標になると思っております。</p>	P17～33 第4章 各施策の成果指標	教育総務課	「7トーク」は、第7次山形県教育振興基本計画策定のために、グループワークを通して子どもや大人の意見を聴取し、計画に意見を反映させるために開催されたものでしたが、一人ひとりが計画を主体的に受け止め、創り上げていく場として有効な機会であったと捉えています。 本計画においては、ワーキンググループによる意見聴取の場は設けませんでした。各施策の中でしっかり取組を実践していく中で、基本理念の広がりにつなげていきたいと考えています。

【参考】事前に電子申請で頂戴した御意見・御質問等

意見等	資料該当項目	担当課	回答
<p>P17 現状と課題 ◇ 1行目 探究学習とあるが探究「型」学習では ■ 不登校・不応適支援 「だれ行き」「スクールガイダンスプロジェクト」の抜本的改革が必要 ■ 3つめの・以下 特に中学校統合による学区の広域化は安全・安心対策に不安が残る</p>	<p>P17 基本目標 1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>◇P17 1行目 探究「型」学習では。→山形県第7次教育振興計画に合わせて「探究学習」としています。 ■P17 不登校・不応適支援の抜本的な改革 →抜本的な改革の必要性は理解できるものであり、今までにない支援方法や手立てを考えなければいけないことから、支援方法の充実と記載したものです。 ■P17 3つめの・以下 →「安全・安心の観点においては、統合による学区広域化、気象災害、野生動物の出没等にも適切に対応できる児童生徒の育成、マニュアルの整備が求められます。」と、学区広域化、野生動物の観点を追加し、修正します。</p>
<p>P18 主な取組(1) ◇ 学力の3要素の「学びに向かう力人間性等」についてはどこで重点とするのか 主な取組(2) ■ 道徳教育では「道徳的な実践意欲の形成」も含めて「よりよい社会を築こうとする態度」を養うこととなっていますが自他を尊重するどまりでは内容的に不十分ではないか 主な取組(4) ■ システムの理解に加えて環境づくりにも配慮が必要では 南成中の教室配置では完全に分離型 主な取組(5) ■ 何度も書いているが不登校対策では大きく方向転換が必要だと感じる 現行制度の継続では改善は難しいのではないかと 「校内支援センターの設置」等 学校は学習の場という枠組みを超えた「人と人とのつながり」を実感できる環境づくりが必要ではないか 主な取組(7) ◇ 具体的な方策が全く見えない 学校は何をすれば正解なのでしょう P20 成果指標 7つめ 援助希求能力 ■ 目標値75%とあるが自殺予防にも関連ありとされる援助希求能力はもっと大切にすべきではないか。将来の人とのつながり形成にも大きく影響する。</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>P18 主な取組(1) ◇ 「～～基礎的・基本的な知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の資質・能力を一体的に育てることで、学びに向かう力、人間性等を涵養します。」と修正します。 主な取組(2) ■ 「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、自立した人間として他者と共によりよい社会を築こうとする道徳教育の充実を図るとともに、～～」と修正します。 主な取組(4) ■ 「～～理解を促進し、学習環境への配慮も含めて、共生社会の形成を目指します。」と修正します。 主な取組(5) ■ 「人と人とのつながり」を実感することは重要な視点と考えております。そのためにも現行のスクールガイダンスプロジェクトとだれもが行きたくなる学校づくりを単なる継続でなく、発展または方向転換も含めて検討を進めたいと思います。 主な取組(7) ◇ 学習の基盤となる資質・能力である言語能力、情報活用能力、問題発見解決力等を各教科等で育成するとともに、総合的な学習の時間や教科横断的な学習において、多様な能力や学びを活かす学習を求めています。 P20 成果指標7つ目（援助希求能力）■ 現状よりも確実に上昇することを目標として数値設定をしました。</p>
<p>施策1-1の「(7)STEAM教育の推進」について 脚注にはありますが、学びの素材はS・T・E・M（科学的分野）+Art（芸術、リベラルアーツ）であり、「A」を加えることで文理の枠を超えた教科横断的な学びを志向するものと認識しています。 本文中の表現（目指すもの）が、S・T・E・A・Mとどのような関連性があり、どのように活用していくのが曖昧な感じがします。</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>総合的な学習の時間や教科横断的な学習の場面において、それぞれの能力が融合して発揮されることを目指し、S・T・E・A・Mのそれぞれが、どの場面でどのように活用されるのか明示しなかったところです。</p>
<p>施策1-1の「(1)小中一貫教育による・・・」、施策1-3の「(4)高等教育機関等との連携」について（感想です） 高等学校も含め、「探究的な教育活動」については、浸透してきているものの「道半ば」と思っています。答えを探す調べ学習との違いや「主体的な学び」に教員がどのようにかかわっていくかなど、指導する側で確認・共有すべきことも多く、教員相互の研修や学びの機会の創出も大切と思っています。 小・中・高・大の教員が連携できる米沢の強みを生かして、今後、より深みのある教育活動を推進していただきたいと思っています。</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>自ら課題を見つけること、答えのないものに対して最適解を見つけようとする、折り合いをつけることなど、探究的な教育活動は発達段階によって、内容の深さや答えに違いが出てくるものと思っています。学園都市米沢の強みを生かして、連携しやすい関係づくりを推進したいと思います。</p>
<p>施策1-1について 「しあわせが循環する」という基本理念の裏側で、不登校等が増えている現状があります。 「誰一人取り残さない教育の実現に向け、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をはかり・・・」という記載によれば、「学校不応適児童生徒への支援」というのが最重要課題であり、優先度が高いのではないかと思います。「主な取組」の(5)に記載されていますが、もう少し重要視すべきことが分かるような記載はできないでしょうか。（記載の順番等）</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>(5)「学校不応適児童生徒への支援」は、その重要度を高く感じており、主な取組を3つ記載しているところです。記載事項の多さや記載順で重要度を示しているわけではありませんが、重要視している取組であることは確かです。</p>
<p>施策1-1(3) 温暖化で夏季は屋外で学校体育が実施できないような状況が続いていることを考えると、安全・安心のために熱中症対策を考えた環境整備は急務と考えます。整備のためのスケジュールを検討する必要がありますか。</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>近年の猛暑は異常といえる事態であり、対策は急務であると認識しております。安全・安心な環境整備は、関係各課と連携して検討してまいります。</p>
<p>施策1-1 情報リテラシー教育についても取り組みが必要ではないかと考えます。近年はSNSの投稿やショート動画で不適切な内容あるいは事実と異なる内容が拡散され、それが世論の多数となってしまう事態が増えています。情報があふれる時代において、情報を取捨選択し、適切な判断ができることも「自ら考え行動できる力」ではないでしょうか。</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>情報リテラシー教育についても、重要なものと捉えております。情報教育は、情報判断、法律理解、セキュリティといった知恵の部分と、思いやり、共生の態度、倫理観といった心情の部分を一体的に学ぶことが重要ですので、施策1-1(2)道徳教育の充実、(3)STEAM教育の推進ともかかわって情報リテラシーを育てていきたいと考えております。</p>
<p>学校不応適児童への支援について、チーム学校のみならず、先生方の目が届きにくい町内や家庭での子どもたちの様子を、民生委員や主任児童委員など地区の方々や協力しながら情報共有を図り、学校と地域の連携を強化する取り組みが大事である。</p>	<p>P18～20 施策1-1</p>	<p>学校教育課</p>	<p>学校不応適児童生徒の支援には、多くの方にかかわっていただくことが重要と考えております。民生委員や主任児童委員などの地域の方々との連携、情報共有の方法は今後も課題と捉えております。</p>
<p>P21 主な取組(5) ◇ スクールガイダンスプロジェクトの成果とは。様々な項目で不登校発生率も増加対策が必要と記載あり。継続して実施するだけの成果とは何でしょう。 P22 成果指標 5つめ ICT活用 ■ 目標値85%とあるがCBTも進みタブレットを鉛筆やコンパスと同様に学習道具として使用できない子供では真の学力を表現できないことになる 授業する教員にはその技術が求められて当然ではないか。5年後には100%とすべきだ。</p>	<p>P21～22 施策1-2</p>	<p>学校教育課</p>	<p>P21 主な取組(5) ◇ 不登校発生率が増え続けている状況はありますが、スクールガイダンスプロジェクトによる適応指導員や適応指導補助員の学校配置により、別室学習室の運営補助になっているという成果はあると思います。教育支援センターでは、不登校児童生徒の受け入れだけでなく、不応適を抱える生徒の観察や指導方法の助言も行っており、不登校未然防止の一助になっているものと思います。 P22 成果指標5つ目 ICT活用 ■ 現状を勘案して85%と設定しました。</p>
<p>施策1-2(7) 小中学校の統合が進み学区が広域化しているため、地域とともに歩む学校づくりの推進がますます大切になると考えます。 「子どもの成長を地域全体で支えるような学校運営の在り方」とも重要だと考えます。もう少し具体的な連携・協働がイメージできるような表記だと分かりやすいと思います。</p>	<p>P21～22 施策1-2</p>	<p>学校教育課</p>	<p>統合が進むことで地域との連携はますます重要になるものと認識しております。それぞれの地域特性を活かせるようにするため、あえて具体的な連携等まで記載しなかったところです。</p>

【参考】事前に電子申請で頂戴した御意見・御質問等

意見等	資料該当項目	担当課	回答
<p>施策1-2 (7) 学校・家庭・地域の連携による教育環境の整備として、部活動の地域展開が触れられています。 地域クラブと学校との関わりはどのようになるのでしょうか。 児童生徒達に多様な選択肢を提供できるような体制が重要ですが、そのための具体的な施策はどのようなものなのでしょうか。</p>	<p>P21～22 施策1-2</p>	<p>学校教育課</p>	<p>部活動の在り方と地域クラブの在り方を互いに理解できるよう、共通の方針を作成する予定です。 また、生徒が地域クラブを選択できるよう教育委員会で集約を行う予定です。ただし、教育委員会が集約を行うクラブは、一定の要件を満たすクラブに限ります。</p>
<p>学校・家庭・地域の連携による教育環境の整備について、子どもたちがそれぞれの場で役割を持ち活躍できるような環境や居場所づくりが大切だと思う。学校だけでなく地域にも、子どもたちの意見を反映し、より良い成長を促すことができる環境を作っていきたい。</p>	<p>P21～22 施策1-2</p>	<p>学校教育課</p>	<p>地域とのかかわりや子どもが活躍できる環境づくりは重要と考えております。統合が進むことで学区が広域化する中、地域の方々との連携体制づくりが今後の課題と捉えております。</p>
<p>P23 主な取組(1) ○ なせば成る 後世に引き継ぎたい大切な精神だと思えます。 主な取組(3) ◇ 幼保こども中の連携は教科(家庭科)の学習どまりで良いか。</p>	<p>P23～24 施策1-3</p>	<p>学校教育課</p>	<p>P23 主な取組(3) ◇ 中学校にも、幼小中の発達段階を意識していただけるように、市教委から幼小連絡協議会資料の配布を行っています。また、幼小連携の様子を小学校とも確認していただきたいと思えます。</p>
<p>施策1-3(1) 「地域人材や資源とのつながり」の表記について 地域人材としたときは「地域人材や地域資源」とした方が資源の意味が分かりやすいと思えます。 この後の21ページにも「地域資源」の表記があるので、脚注があると理解しやすいと思えます。</p>	<p>P23～24 施策1-3</p>	<p>学校教育課</p>	<p>「地域人材や地域資源」と修正します。</p>
<p>防災マニュアルの見直しと学校 安全体制の整備について、休日や長期休暇などの学校生活以外の時間帯に災害発生した場合に、子どもたちの安全確保や安否確認をどのように行うか、地区や各種団体とどう連携するのか、まだまだ課題が多く改善していかなければならない。</p>	<p>P23～24 施策1-3</p>	<p>学校教育課</p>	<p>学校の防災マニュアル等を地域の方にも確認いただけるようにHPに掲載するなどの手立てが考えられます。休日等の子どもの安全確保は、地域の自主防災組織との連携が必要と思われます。</p>
<p>施策2-1(4) 基本理念の「しあわせの循環」は、「学びの循環」ともいえます。 地域の「学び」と「学び」をつなぎ、地域の「学び」と「実践」をつなぐ「学びの循環」を築くためにも、学べる機会の充実だけでなく、学んだことを活かせる場の創出が必要だと思えます。そのためにも「学び」をつなぐコーディネーターの育成が必要になると思えます。 「学びたいこと、やりたいこと」を仲間と一緒に実現していける体制や環境づくりがますます重要になると考えます。</p>	<p>P25～26 施策2-1</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>講座において、受講生同士でも、経験者が初心者に対して教えるといった学び合いの場面がみられます。 今後、このような環境がさらに増えるよう、努力してまいります。</p>
<p>セミナー・講座・鷹山大学成果指標に関してですが、「開催回数」「受講者数」「満足度」と、バラバラになっています。3つの項目すべてを、それぞれ求めてはいかがでしょうか？</p>	<p>P25～26 施策2-1</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>年間の回数が決まっているもの、少子化人口減少により人数では測れないもの、満足度を図ることが困難なものがあるため、全項目を求めるのは難しい状況です。</p>
<p>施策2-2「家庭教育・青少年教育の推進(1)家庭教育の推進」に関してですが、どの様な方向性で家庭教育を向上を図るのか、家庭に何を伝えたいのか、教えてください。成果指標からは何を読み取ればよいのかわかりません。方向性に沿った成果指標の検討してはいかがでしょうか？</p>	<p>P27 施策2-2</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>園児や小学生の保護者には、基本的な生活習慣や社会性を身につける力について、中学生の保護者には、命の尊さについて、まず親自身が学べる機会を創出します。</p>
<p>施策2-2 (1) 家庭教育の推進の成果は、親子ふれあい体験事業の開催回数のみで測れるのでしょうか。家読の推進とありますので、こちらの取り組み状況も成果指標として必要ではないかと考えます。</p>	<p>P27 施策2-2</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>ご意見いただきました「家読の推進」を成果指標とすることについては、家庭ごとの取組状況を客観的かつ継続的に把握することが難しく、成果指標として数値化することが困難であるため、設定を見送ったものですので御理解をお願いします。</p>
<p>P29 (3) 文化施設の適正な管理 ■ 老朽化が著しい施設の改修が望まれる</p>	<p>P28～29 施策3-1</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>文化施設のなかでも、特に市民文化会館と座の文化伝承館の老朽化が進んでおります。緊急性の高い箇所を優先順位をつけながら修繕等のメンテナンスを行っているところですが、今後、大規模改修や施設の建替えを進めていくには多額の費用がかかる見込みです。現在、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を改定しておりますので、施設の利用状況や財政状況などを総合的に勘案しながら、今後の方針を検討してまいります。</p>
<p>施策3-1(2) 文化施設における事業の展開 について 置賜文化ホール、市民ギャラリー等、新しい施設が文面に記載されていますが、一番古い歴史を持つ「米沢市民文化会館」についての記載はないのでしょうか。現在文化会館の緞帳が無くなっていたり、設備が古いままとなっていますが、今後どうなっていくのか・・・こども園でも毎年園児の芸術活動の発表会に使用させていただいたり、今まで長い間米沢市の文化施設として大きな役割を担ってきたと思えます。何か今後の計画があれば教えていただきたいと思えます。</p>	<p>P28～29 施策3-1</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>「市民文化会館」の老朽化への対応については重要な課題と認識しておりますが、大規模改修や施設の建替えには多額の費用がかかる見込みです。現在、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を改定しておりますので、施設の利用状況や財政状況などを総合的に勘案しながら、今後の方針を検討してまいります。</p>
<p>「基本目標3」「施策3-1」の「主な取組」には、博物館機能の更なる充実や置賜文化ホール、市民ギャラリー等文化施設における事業展開の充実について取り上げていただいています。博物館やナセBAは、市民相互の交流拠点の一つとして、市民皆に足を運んでいただくことで、地域の歴史、文化に誇りを持ち、次代の米沢への期待と希望を抱く契機となるような取組が求められていると感じております。 令和12年の謙信公生誕500年をはじめ、米沢の歴史と文化を伝え発信する機会を得ることは、米沢とそこに生きてきた人たちが何を大切にしてきたか、どう生きてきたかという固有の精神性に、内外から注目が集まり、高く評価される機会でもあります。歴史・文化はコミュニティに共有されて初めて次世代にもつながる新たな「文化」となりうるものです。また、そのような米沢市民、米沢に育つ子どもたちをつなぐものがあってこそ、「基本方針1」にも掲げられたように、新たな「可能性への挑戦」に向け「時代の変化にしなやかに対応」(「基本目標1」)していける米沢の子どもたちを育ていけるものであり、これは、学校教育はじめ社会教育活動、地域の文化活動など全般に通底する大切な要素でしょう。 以上のように、「基本方針4」、「基本目標3」とその施策により、歴史と文化の町米沢の「未来を創る人づくり」、「新しい地域社会を創る人材」の育成が時代を超えるつながりの中で確かに推進されていくことに対し大いに期待しながら拝見しました。地域の貴重な文化財の研究・保存・活用も含め、今後とも文化振興の充実とそれに向けた環境づくりに、たくさんの市民の皆様の一層のご理解とご支援を賜れば幸いに存じます。</p>	<p>P28～29 施策3-1</p>	<p></p>	<p></p>

【参考】事前に電子申請で頂戴した御意見・御質問等

意見等	資料該当項目	担当課	回答
<p>施策3-1 (2) 市ゆかりの芸術家・作家の作品展や公演に積極的に取り組むのはよい取り組みであると思 います。こちらも何回開催したか成果指標を示していただければと思います。</p>	<p>P28~29 施策3-1</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>ご意見いただきました「市ゆかりの芸術家・作家の作品展や公演の実施回数をを成果指標とする」という点につ いては、文化施設で行う自主事業の年間回数がもともと限られているため、実施回数を指標化すると、事業枠の 制約によって指標値が大きく左右されるおそれがあります。そのため、成果指標として適切に評価できないと判 断し、設定を見送ったものですので御理解をお願いします。</p>
<p>P32 (2)スポーツ環境の整備 ■ 老朽化が著しい施設の改修が望まれる</p>	<p>P31~32 施策4-1</p>	<p>スポーツ課</p>	<p>スポーツ環境の整備としては、各施設が老朽化するため毎年修繕を行っております。令和6年度は市営体育館 アリーナ床研磨修繕等を行い、利用者が安全・安心に利用できるように環境整備を行っております。今後の計画 については、米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画や新総合計画の第1期実施計画の策定の中で、検討し てまいります。</p>
<p>P32 成果指標の欄の一番上と一番下がダブっています</p>	<p>P31~32 施策4-1</p>	<p>教育総務課</p>	<p>ご指摘のとおりですので、一番下の「スポーツイベント参加者数」を削除します。</p>
<p>P32P33 それぞれの成果指標の目標値はどうやって決めたのか 当日説明をお願いします</p>	<p>P31~33 施策4- 1,4-2</p>	<p>スポーツ課</p>	<p>現行の本計画及び令和6年度に策定した第2期米沢市スポーツ推進計画の成果指標項目を反映させ、各々の指標 については実績値に対し、令和12年度に予想される総数を割り返して算出した目標値及び今後の事業計画等を立 案するなかにおいての目標人数等を上乗せし算出した目標値となっております。</p>
<p>施策4-1 (3) スポーツツーリズムに関する成果指標も必要ではないかと考えます。</p>	<p>P31~32 施策4-1</p>	<p>スポーツ課</p>	<p>スポーツの振興を効果的に進めるための成果指標として、スポーツツーリズムの評価を取り入れるべきかとい うご指摘は、極めて重要な視点であると認識しております。 まず、スポーツツーリズムの成果指標を検討する際には、単純に数値を「上げる」ことを目的とするのではなく、本 市の教育・スポーツ振興と観光振興がいかに相乗効果を生み出すかを見極める視点が必要です。確かにスポーツ イベントや合宿誘致の参加者数といったアウトプットは分かりやすく、施策の導入状況を把握しやすい一方で、 それだけでは地域の賑わい創出や人材育成といった中長期的な成果を十分に評価できません。したがって、数値 の「量」だけでなく、「質」と「長期的影響」を捉える指標群を併せて設定することを基本に研究してまいりま す。</p>
<p>高校教育に携わる者の視野から申し上げます。 様々な場面で、これからの高校教育を考える上での「トレンド」は 1人口減少・少子高齢化 2 グローバル化 3多様性・包摂の重視 4デジタル化 (Society5.0) 5変化の激化、不確実性の高 まり 6人生100年時代 といわれており、これらが複雑に絡み合う社会を主人公として生きていく生 徒たちに対して、どのような教育環境と教育内容を提供していくかが大きな課題と捉えています。 ご提示いただいた4つの基本目標と施策・取組の中でこれらの視点が網羅され、義務教育の段階か らの施策が打ち出されていることを心強く思っております。社会への出口と言われる高校側でも、こ の教育計画を共有し、地域の未来を担う人材の育成に努めていかなければならないと考えています。</p>	<p>全体への 感想等</p>		
<p>人口減少、少子高齢化の中、新しい時代に向かって大切にしなければならぬ視点が、第2章「現状 と課題」で述べられており、大変分かりやすいと思います。 「前計画の振り返り」をもとに「学校教育分野」「社会教育分野」「文化芸術分野」「スポーツ分 野」において米沢市としての大きな取り組みが期待されることだと思ます。 新しい計画の「基本理念」「基本方針」としては、学びを通して「しあわせが循環する米沢」とい う温かさを感じる理念となっており、様々な学びはもちろん、人と人とが繋がり合うことを大切にし たいという思いは、小さな都市米沢ならではの理念になっていると思います。 多様性を認め合うこと、人生100年時代で平均寿命も延び、生涯にわたって健康で生きがい をもって生活すること、また特に「歴史と文化を守る」ということが基本方針の中に大きく掲げられて いるのは、上杉の地である米沢らしさが出ていると思います。</p>	<p>全体への 感想等</p>		
<p>鷹山公が平洲先生を召喚され、興讓館を設立された様に、地域の礎は教育だと思ます。地域の未来 である子ども達に「しあわせ」であります様、未来の米沢も「しあわせ」が循環しています様、私 自身も出来ることをコツコツ努めて参りたいと考えさせられた基本方針でした。ありがとうございます。</p>	<p>全体への 感想等</p>		
<p>概ね賛成です。ここまでのまとめありがとうございます。そしてお疲れ様でした。</p>	<p>全体への 感想等</p>		